

愛汗大志



令和3年10月17日(月)
南城市立知念中学校
校長 志伊良 洋子



「音楽家による演奏会」【9月21日(火)】

2学期が始まって、始めは3年生のみの午前中授業、始業式の6日から全学年登校の午前中授業、翌週は給食ありの午前中授業と、徐々に普段の授業にもどしていくことになりました。午後の授業が開始された21日、感染対策を徹底して「3人の音楽家による演奏会」を行うことができました。間近で生の演奏を聴くことができ素晴らしい時間を共有しました。音楽科のめぐみ先生が選んだ感想を紹介します。



<2-1 伊集愛来>

ヴァイオリンとチェロがハモる感じがすごくきれいだった。生の演奏を聴くと心が気持ちよくなるからいい!

<2-1 伊集妃杏> 演奏が始まった瞬間にビビってきた。沖縄の曲メドレーを聴いて笑顔になった。自分も家で三線を弾きたくなった。

<2-1 大田杏華> チェロは下に響いて地面が揺れていて、音の振動ってすごいと思った。楽器の大きさによって音の大きさや高さが違うと体感した。ヴァイオリンやチェロなどは、弓で弾くだけでなく指でたたくこともあると知った。



<2-1 親川陽夏>

1つ1つの音楽で、自分自身で物語を考えながら聴いたので楽しかった。心にドシンドシと響いてとても綺麗だった。音楽を奏でている人の顔が音やその状況によって変化していて、しっかり音を感じているんだなと思った。

<2-2 仲里きらり>

3つの楽器から様々な音やリズム、振動を感じた。楽器一つ一つには、それぞれ良いところや特徴がたくさんあって、合わせるともっと立体的になってすごかった。



<2-2 照喜名元輝> 感情の変化の様子などをいろんな楽器を使って丁寧に表していてすごいと思った。楽器によって音が様々で、それぞれの役割がきちんとあって、音楽は1人じゃできないん

だなと思った。演奏を生で聴けて、音楽というものを肌で感じられて良かった。

<2-2 新城美優> 自分は、今日聴いた音楽のジャンルは興味が無かったけれど、たまに聴くのもいいなと思った。ヴァイオリンを弾いていた方の体で表現しているのが、すごく印象的だった。

<2-2 親川真宝> 楽器でいろんな気持ちの表現ができるってすごいなと思った。「マンボ」という曲は、目覚ましに良さそうな曲だった。後の曲は、眠たくなるような穏やかな曲だった。

1学年マナー講習会 【9月28日(火)】

いろいろな行事が中止や延期になっていましたが、最近やっと新規感染者数も減少してきましたので、これからは予定どおりに実施していけそうです。それでも、第6波に備えて気をつけながら行っていきます。1学年は総合的な学習の時間に外部講師をお招きしてマナー講習会を実施しました。社会の一員として必要な礼儀やマナーの重要性について理解が深まったことでしょう。6校時はクロムブックを活用して、電話対応についての実践に挑戦しました。



1年2組の学級担任が代わりました

1年2組担任の新垣誠先生が10月1日から島尻教育研究所で研究員として後期の研修に行くことになり、昨年本校の学習支援員として務めていた當山司先生に代わりました。當山先生は、これまで1年生から3年生までの数学や国語の時間にTTと一緒に授業に入り生徒と関わってきました。ですので、子どもたちもよく慣れておりスムーズに代わることできたのではと思っております。誠先生は、これからも検証授業のために度々学校を訪れ授業をすることになっています。また、女子バスケの顧問は、津波古圭太先生(1-1担任)に代わりました。ご理解の程宜しくお願いします。

